

# FortiClientVPN ユーザマニュアル(学生用)

## Windows 版

2026年3月4日

情報教育センター・メディア情報課

---

### 【FortiClientVPN について】

FortiClientVPN 接続サービスとは、学外インターネット(自宅等)から学内に接続し、学内システムを利用するものです。

### 【このマニュアルについて】

このマニュアルは、Windows での FortiClientVPN システムの利用について説明したものです。お使いのインターネットブラウザの種類やパソコンの設定によっては、画面遷移やメッセージが当マニュアルと異なることがあります。適宜読み替えて操作を進めてください。

ご不明の点は、情報教育センターにお問い合わせください。

---

### <目次>

1. 初めての利用時(設定) .....	1
1.1. インストールプログラムのダウンロード .....	1
1.2. FortiClientVPNInstaller をインストール .....	2
1.3. Forti Client VPN の設定方法 .....	3
◆アンインストール(削除) .....	6
2. 学内ネットワークドライブ(Xドライブ、Yドライブ)の利用 .....	9
2.1. Xドライブの設定 .....	9
2.2. Xドライブへの接続 .....	10
2.3. Yドライブの設定と接続 .....	11
3. VPN接続で利用できる学内システム .....	11

# 1. 初めての利用時（設定）

## 1.1. インストールプログラムのダウンロード

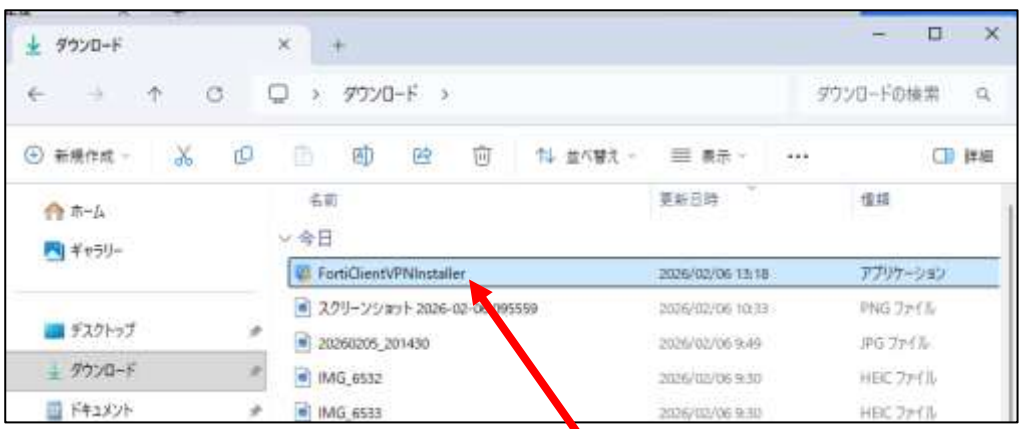
ブラウザで下記 URL のサポートページを開き、Windows 用のインストールプログラムをダウンロードします。

<http://www.fukujo.ac.jp/sslvpn/>

まずアドレスバーに、直接入力または半角英数で URL を入力



ダウンロードをクリックしたら、「保存」をクリックし、ダウンロードフォルダを開きます。



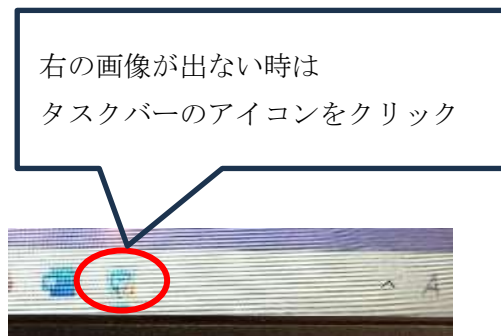
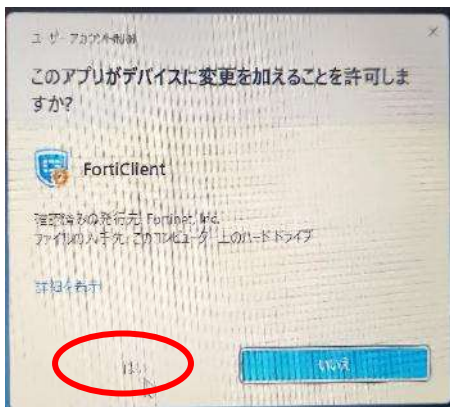
ダウンロードフォルダに、ファイルが保存されています。

## 1.2. FortiClientVPNInstaller をインストール

ダウンロードが完了したら、アイコンをクリックして管理者として実行します。



このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?  はい を選択

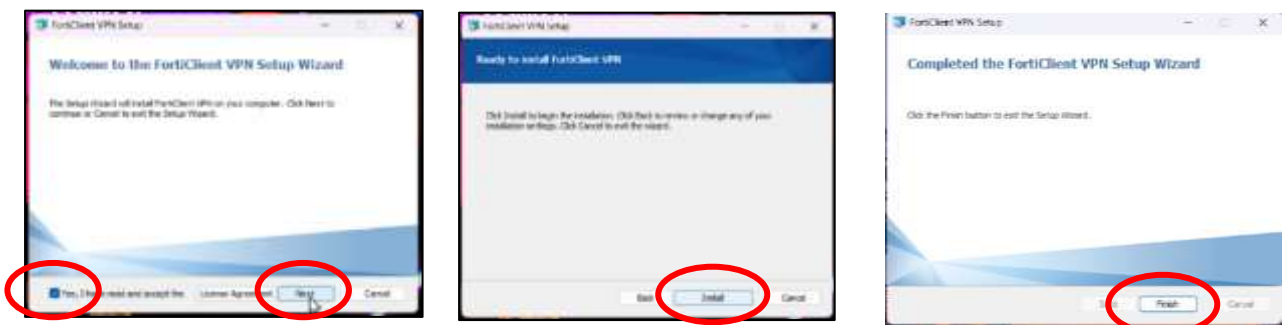


自動的にインストールが始まります。



※インストール開始直後、プログラムのダウンロードと回答が自動で開始するので、回線の状態によっては数分かかる場合があります

セットアップ画面表示、チェックを入れて『Next』⇒『Install』の順にクリックします。

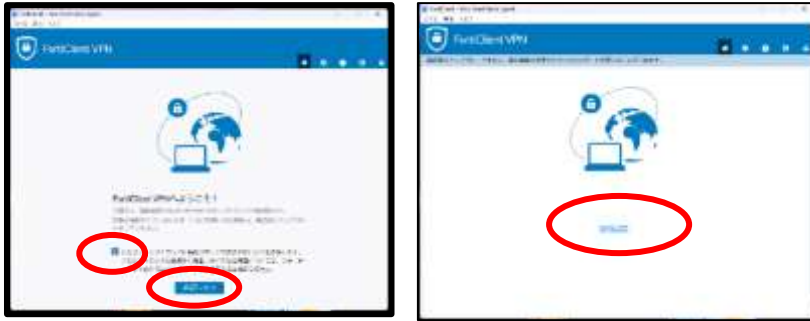


### 1.3. Forti Client VPN の設定方法

ホーム画面のアイコンをクリック



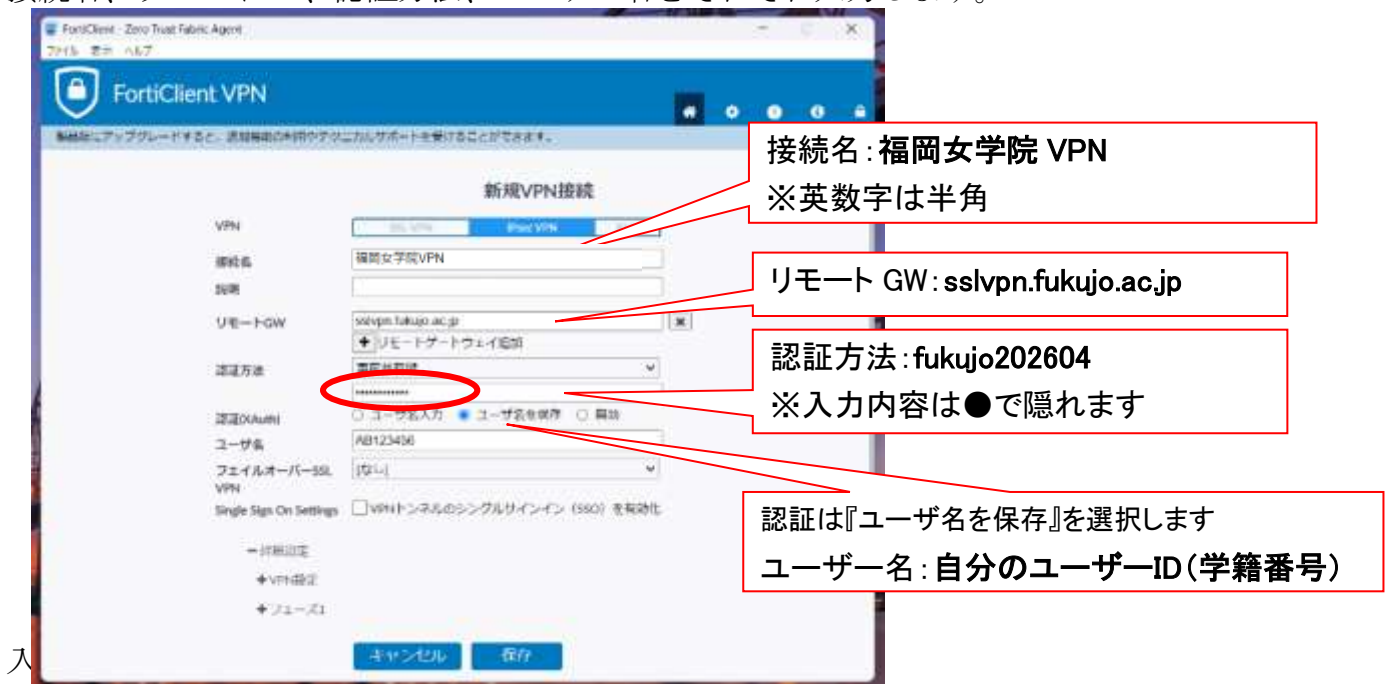
チェックを入れて、『承諾します』⇒『VPN 設定』の順にクリックします。



VPN を『SSL-VPN』から『IPsecVPN』をクリックして変更します。



接続名、リモート GW、認証方法、ユーザー名をそれぞれ入力します。



入

VPN 設定が下記画像と同じであることを確認します。(異なる場合は修正してください)

- 詳細設定  
 - VPN設定  
 IKE  バージョン1  バージョン2  
 モード  メイン  アグレッシブ  
 Address Assignment  モードコンフィグ  手動設定  DHCP over IPsec  
 + フェーズ1  
 + フェーズ2  
 キャンセル 保存

フェーズ1、フェーズ2も同様に、下記画像と同じであることを確認してください。


Address Assignment  モードコンフィグ  手動設定  DHCP over IPsec  
 - フェーズ1  
 IKEプロポーザル 暗号方式 AES128 認証 SHA1  
 暗号方式 AES256 認証 SHA256  
 DHグループ  1  2  5  14  15  
 16  17  18  19  20  
 21  
 鍵の有効期間 86400 秒  
 ローカルID オプション  
 DPD (デッドピア検出)  
 NATトラバースル  
 ローカルLANの有効化  
 + フェーズ2  
 キャンセル 保存

ローカルLANの有効化  
 - フェーズ2  
 IKEプロポーザル 暗号方式 AES128 認証 SHA1  
 暗号方式 AES256 認証 SHA256  
 鍵の有効期間  43200 秒  
 5120 KB  
 リプレイ検出を有効にする  
 Perfect Forward Secrecy(PFS)を有効にする  
 DHグループ 20  
 キャンセル 保存  
 ※入力内容に誤りがある場合、保存しても画面が切り替わりません。再度エラー表記が出ていないか、入力内容を確認してください。

詳細設定が全て同じであることを確認したら、『保存』をクリックしてください。

## ◆接続方法



 をクリックすると接続画面が表示されます。

ユーザー名に対応した自分のパスワードを入力して、『接続』をクリックします。



下記画面が表示されたら、接続成功です。



## ◆切断方法

学内へ接続する必要がなくなったら接続を切断します。

接続する場合と同じく＜FortiClient VPN＞を起動し、切断してください。

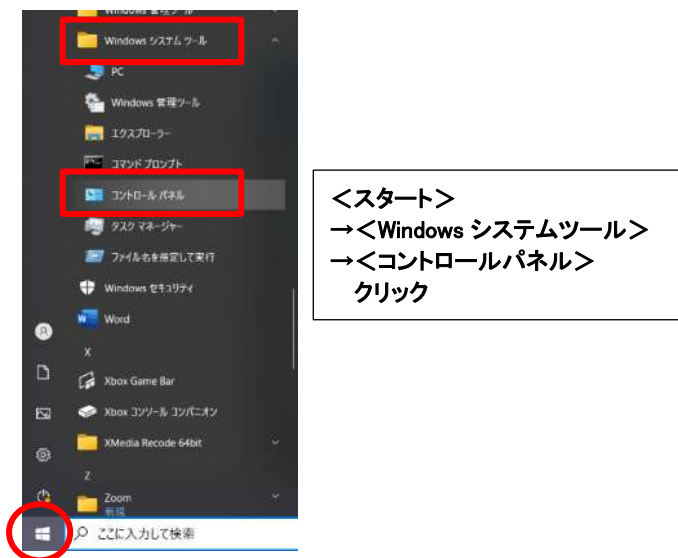


## ◆アンインストール（削除）

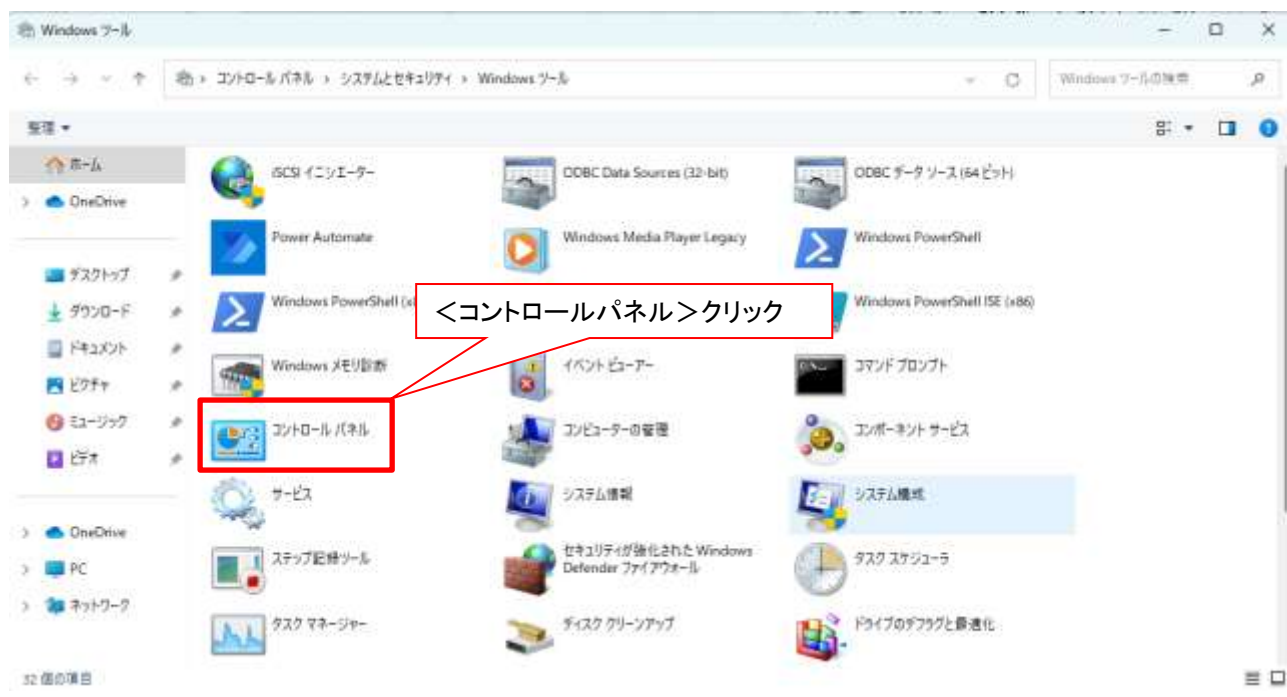
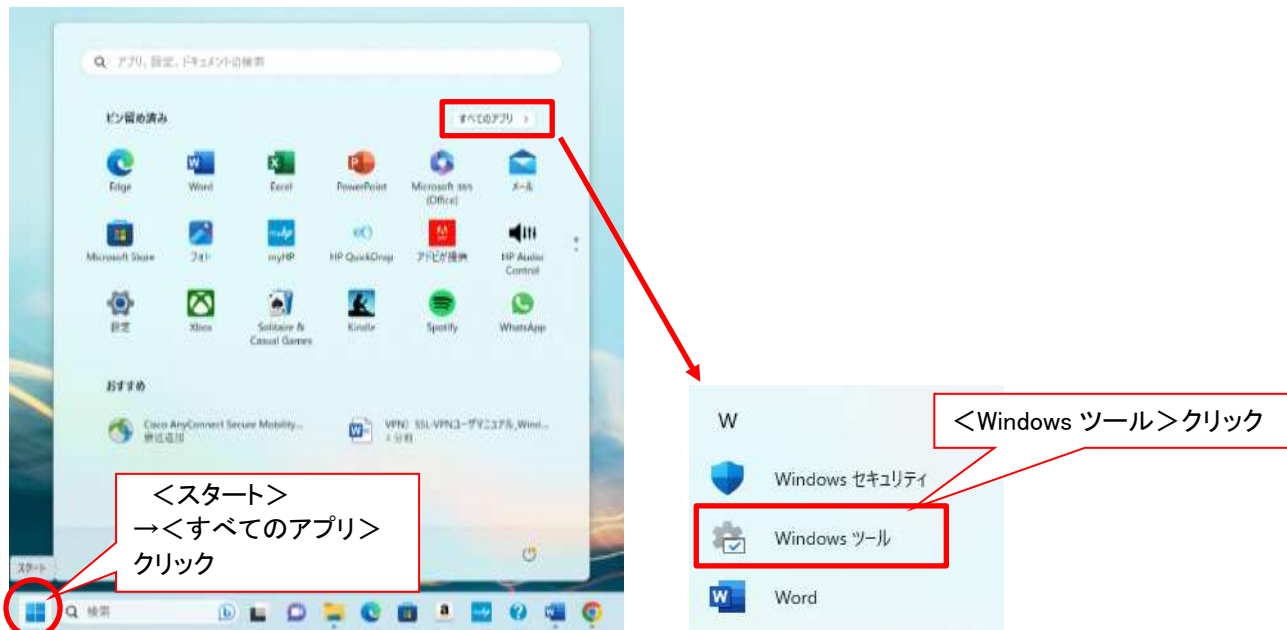
今現在＜Cisco AnyConnect＞が入っている方や＜FortiClient VPN＞を一旦アンインストール（削除）したい方は、下記の手順でアンインストールをしてください。

まず、次のどちらかの方法で、コントロールパネルを開きます。

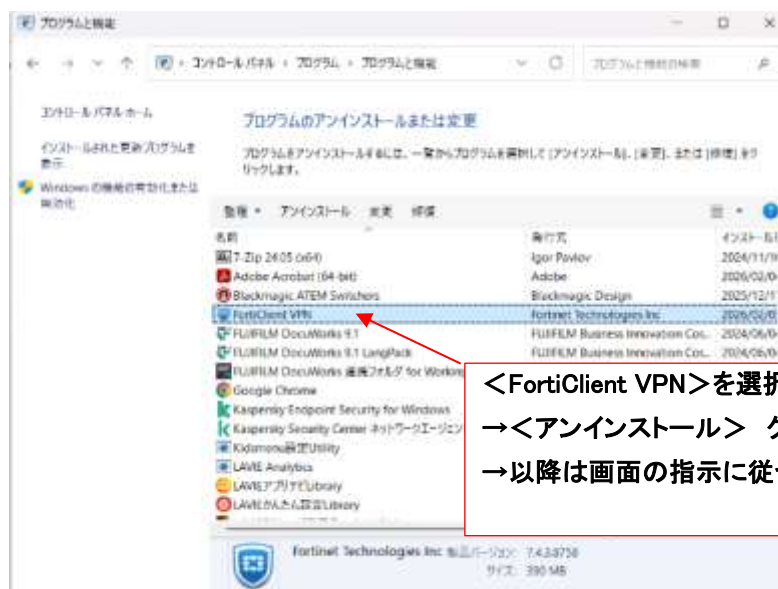
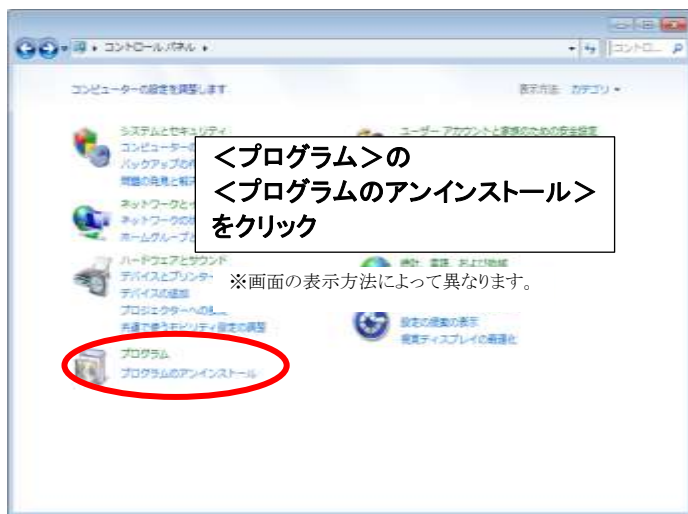
[Windows10 の場合]



[Windows11の場合]



続いて、アンインストールします。



## 2. 学内ネットワークドライブ（X ドライブ、Y ドライブ）の利用

接続すると、個人用の X ドライブ、教材配布用の Y ドライブへアクセスし、情報フロアと同じようにファイルを扱うことができます。

**ご注意を！**

～ネットワークドライブのファイルはパソコンにダウンロードして編集してください～

ネットワークドライブのファイルを直接開いて編集・操作して、通信の遮断といった状況が起きた場合、ファイルが壊れて開かなくなることがあります。

ファイルは必ず自身のパソコンのデスクトップやドキュメントへダウンロード(ファイルコピー)し、そのファイルで編集・保存を行ってください。(右図①②)

そして、作業終了後に、各ドライブへ戻しておくと、情報フロアのパソコンで更新したファイルが利用できます。(右図③④)

**ドラッグ&ドロップ ③(ファイルコピー)**

**パソコンのデスクトップやドキュメント ②(開いて編集・保存)**

**Xドライブ ④編集後のファイル**

**ドラッグ&ドロップ ①(まずファイルコピー)**

### 2.1. X ドライブの設定

VPN 接続している状態で、デスクトップ上にネットワークドライブ（ここでは X ドライブ）へアクセスするためのショートカットを作ります。入力の際は¥マーク、\$マークに気をつけてください。

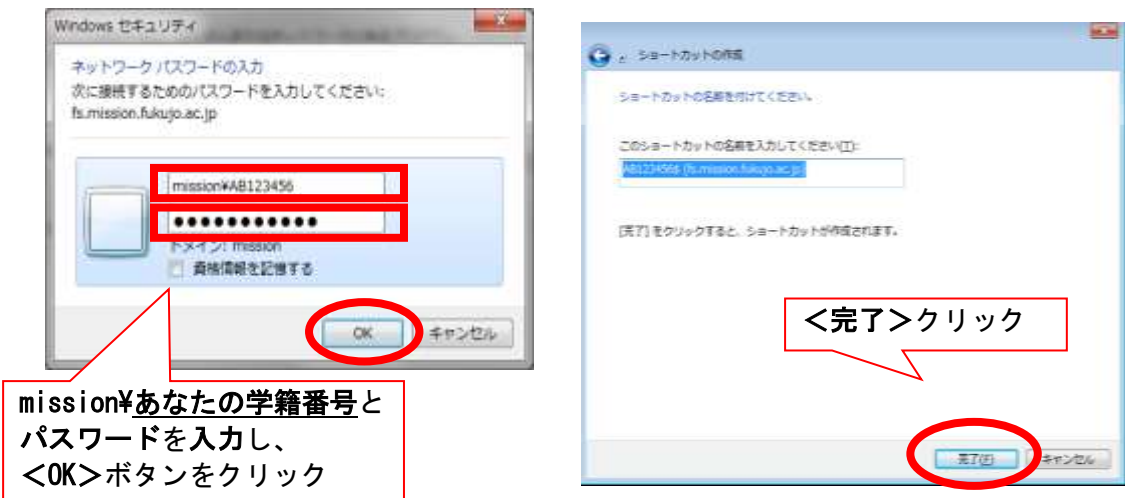
**デスクトップ上で右クリック**  
→<新規作成>  
→<ショートカット>クリック

**¥¥fs.mission.fukujo.ac.jp¥あなたの学籍番号\$**  
を入力し、<次へ>クリック

X ドライブへのショートカット  
**¥¥fs.mission.fukujo.ac.jp¥AB123456\$**  
 あなたのユーザ ID (学籍番号)

※はじめの¥マーク2つ、途中の¥マーク、最後の\$マークを必ずつけること！

認証画面が表示されますので、ID とパスワードでログインしてください。ここでの認証 ID は、学籍番号の前に「mission¥」 がつきます。



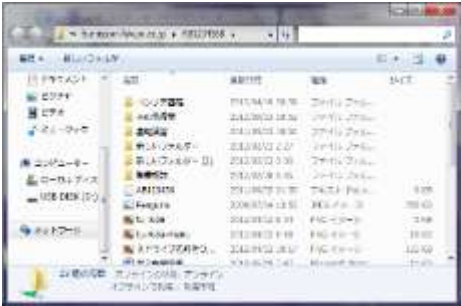
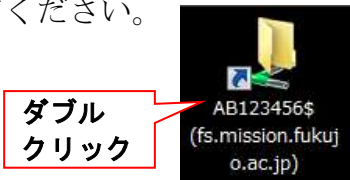
mission¥あなたの学籍番号とパスワードを入力し、<OK>ボタンをクリック

<完了>クリック

ファイルサーバへの認証 ID      **mission¥AB123456**  
 あなたのユーザ ID (学籍番号)

※はじめに mission¥ をつけること！

デスクトップにショートカットが現れます。認証が完了し、ファイルサーバ (X ドライブ) が利用可能になりました。ダブルクリックで開いてください。



2.2. X ドライブへの接続

通常の接続は、SSL-VPN 接続している状態で、ショートカットをダブルクリック → 認証 → Xドライブが開く、という手順になります。 ※ID は mission¥あなたの学籍番号です

